

有終の美を飾る「佐賀大会」レポート

『子どもの家』誕生100周年記念の最後を締めくくる「佐賀大会」が、好天に恵まれた11月17日(土)に、佐賀県基山町の『たんぼぼ保育園』で開催されました。今回の会場は、佐賀県といっても福岡に近い所で、福岡モンテッソーリ教育研究会の全面協力のもと、5月の「えんぜる保育園(福岡市)&白銀保育園(大牟田市)」、9月の「生目台みどり保育園(宮崎市)」に続くリレー公開保育の一環として、皆さんに実際の保育現場を知っていただくということと、松浦公紀(きみとし)先生の記念講演という形で行われました。当日は佐賀県内および福岡・長崎県などから113名もの参加者が駆けつけてくださいました。



▲たんぼぼ保育園での公開保育の様子(クッキーを焼いた2歳児)



▲整えられた環境でお仕事に専念する3~5歳児クラスの子ども



▲0~1歳クラスの室内。乳児に合った環境がステキです



▲見学者であふれる園内。皆さんとても熱心に見学されていました

- 開催日：2007年11月17日(土)
- 会場：たんぼぼ保育園(佐賀県三養基郡基山町大字小倉805-1)
- 主催：福岡モンテッソーリ教育研究会
才能開発教育研究財団 日本モンテッソーリ教育総合研究所
- 共催：社会福祉法人 基山福社会 たんぼぼ保育園
- 協賛：教師養成センター同窓会/株学習研究社
- 参加費：1000円(資料代)

※冊子3冊(園の活動状況&モンテッソーリ教材の紹介)と松浦先生の講演資料が配付されました

■11月17日(土)『たんぼぼ保育園』にて

9:00~9:30 受付

9:30~10:30 公開保育 <0~1歳児の部屋><2歳児の部屋><3~5歳児の部屋>を公開。

参加者は自由に園内を見学。見学者からは、「大勢の見学者にも、子ども達は全く動じないですね」「騒然なのが当たり前と思っていたのに、ビックリ!」「あんなに小さい子がものすごい集中力!」「子ども達の目が輝いていますね」などの、賞賛の声をたくさんいただきました。

→園内には子ども達の日頃の作品も多く飾られていて、そのできばえに盛んに感心されていました。



10:40~11:40 講演会<講師：松浦 公紀>

テーマ：「モンテッソーリ教育 これまでの100年、これからの100年」

今回は初心者が多かったことから、モンテッソーリ教育の概論を含め、モンテッソーリ教育のよさと、そこから育つ子ども像を、実際に現在世界で活躍するモンテッソーリ教育で育った人を例に、わかりやすく話していただきました。



▲講演会場をぎっしり埋めた参加者の皆さん。熱心に耳を傾け、メモを取っていらっしゃいました。

11:45~12:15 質疑応答(園の先生が公開保育に関する質問に回答)&閉会式



実践現場を見学し、講演を聞いていただいた後、参加者の質問を受けました(写真左)。また、最後に今回の大会開催に感謝して、日本モンテッソーリ教育総合研究所よりたんぼぼ保育園の榎崎敏実園長へ、「感謝状」が授与されました。

●会場紹介：昭和57年10月開園、定員60名でスタート。「心身ともに健康な子」「思いやりのある子」「感性豊かな子」を保育方針に、現在は定員90名。0歳~未就学児のほかにも延長保育・障害児保育・一時保育も行っています。福岡モンテッソーリ教育研究所所属園。

●最後に●2007年はモンテッソーリ教育普及年として、2月の沖縄大会を皮切りに全国各地で「地方大会」を、また10月には東京で「中央大会」を開催し、実にのべ5000名以上もの方々にお越しいただきました。今回の「佐賀大会」でも、対象をモンテッソーリ教育未導入園に絞ったため、多くの参加者は見込まれないのでは予想されましたが、ふたを開けてみると予想に反して23か園もの未導入園関係者にお越しいただきました。

このように、全参加者の半数以上の方々が今までにモンテッソーリ教育に触れたことのない一般の方々および保育関係者で、「以前から知りたかったので、喜んで参加しました」「子どもの成長に合った教育を見たくて……」「自分の子どもに合った教育だと思っていたので、今日、直に触れられてよさを実感しました」等の感想を多く述べられておりました。まさに開催目的をかなえることのできた一年であったといえます。

この場をお借りしてお越しいただいた全ての皆様にお礼を申し上げますとともに、開催にあたって多くの皆様のお力添えに対しまして深く感謝を申し上げます。

今回の大会成功で終わりにするのではなく、これを更なる飛躍のステップとし、皆様と一緒に子ども達の明るい未来のための精進することをお誓い申し上げます。同時に、今後ともモンテッソーリ教育にご支援、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。